

# 全国高校サッカー県大会 2日決勝

## 山田高29連覇か 野辺西初優勝か

高校世代最高峰の高田宮杯U-18プレミアリーグ東地区2位と好調。主将のGK松田、DFの月館と大場(いずれも3年)を中心に、プレミアリーグでは18試合で最少の17失点。伝統の堅守は今年も健在だ。

決勝はFW深瀬が鍵を握る。プレミアリーグでは13得点で得点ランキング2位、7-1で勝利した県大会準決勝の八学光星戦ではハットトリックを達成するなど好調。クロスやロングパス、セッ

トプレーで深瀬に良い形でボールを集めたい。深瀬は「自分のゴールでチームを勝たせたい」と県高校総体決勝のリベンジを誓う。

野辺西は今季、県リーグ1部を戦い15勝3敗の2位で終えた。県大会準々決勝は1-1からの延長、PK戦の末勝利、準決勝は1-0で接戦を制した。3試合で35得点を挙げて決勝に進んだ昨年の県大会とは異なり、2試合とも自陣に引いて守る相手を崩しきれず、

やや消化不良な試合が続いた。

決勝では相手に押し込まれる展開が予想され、主将のFW藤田(3年)を中心にチャンスを確認にもにしたい。中盤を支える2年生のMF関下と木村の活躍も不可欠。守備では1年生から守護神を務める経験豊富なGK喜村(3年)に期待がかかる。

準決勝でゴールを決めた関下は「自分たちでできる最大限の準備をして臨みたい」と意気込む。チーム一丸で県高校総体決勝の再現を狙う。

(相澤賢斉)

第104回全国高校サッカー選手権県大会は11月2日、青森市のカクヒログループアスレチックスタジアムで、29連覇を狙う青森山田と初優勝を目指す野辺地西の決勝を行う。両校の決勝対決は9年連続。全国の切符をかけた一戦は正午キックオフ。

青森山田は、6月の県高校総体決勝で野辺地西に敗れたものの、徐々に調子を取り戻し、現在は